

不祥事根絶のための行動計画

福山市立道上小学校

作成責任者 校長 塚本智一

現状維持は後退である。
「日々改善」

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○起案書類における期限の厳守 ○個人情報の管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○決裁は期限前日までに受ける。 《本校での重点項目》 ★机上整理 ★個人情報の適正管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自でスケジュールの管理をする。 ○提出書類に関して、見直しをもつ。(月・週の行事予定表、) ○起案書提出、書類に関して声をかけ合う。 ○文書持ち出し、個人情報の取り扱い等、職場で決めたルールを確実に実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○起案書で自己チェックする。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○初期対応への不安 ○教職員がお互いに、不祥事を許さないという風土の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な取組にしていくために、悩みや困ったことなどがあれば声に出す。 ○不祥事防止に向けて教職員同士のコミュニケーションを促進させ、職場のネットワーク、雰囲気作りを通して、日頃感じていることが出し合える職場環境を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修計画・担当等を校務分掌に応じて見直し、全職員が取組・研修の内容の企画・運営に関われるよう担当を決める。 ○随時、ケース会議を開く。 ○できていること・よくなってきたことを、相互で確認し合い、言葉で伝え合う。 ○各学年、各分掌で連携し合い、チームで運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年会・学年主任会・企画委員会で情報交換を行う。 ○月に1回不祥事委員会で、情報交換を行い、状況を把握するとともに、暮会等で全職員に周知する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「SC(スクールカウンセラー)」「せんせい きいて!」の周知と利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○「カウンセリング」「せんせい きいて!」の日の周知を日常的に繰り返し行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各担任が「明日は、『せんせい きいて!』の日です。」「今週は、SCによる面談ができます。」と児童や保護者に知らせ、相談しやすい窓口であることを周知する。 ○教育相談窓口・相談先を記載したポスターを、児童が教育活動を行うすべての場所に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談日・相談内容については、カウンセリングノート等に記録する。 ○学期毎に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。(いじめ・体罰・セクハラ)